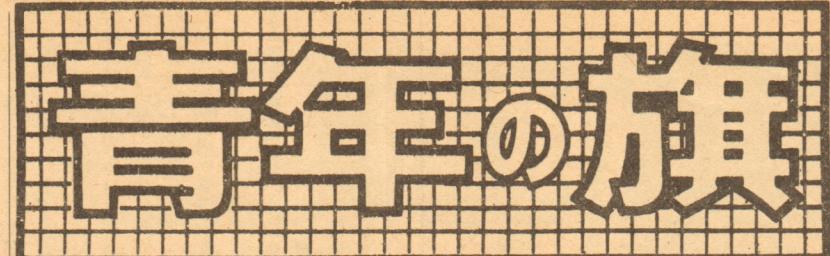


平和と平和共存、反独占民主主義

平和・民主・労働運動統一のために

大衆的青年同盟建設のために



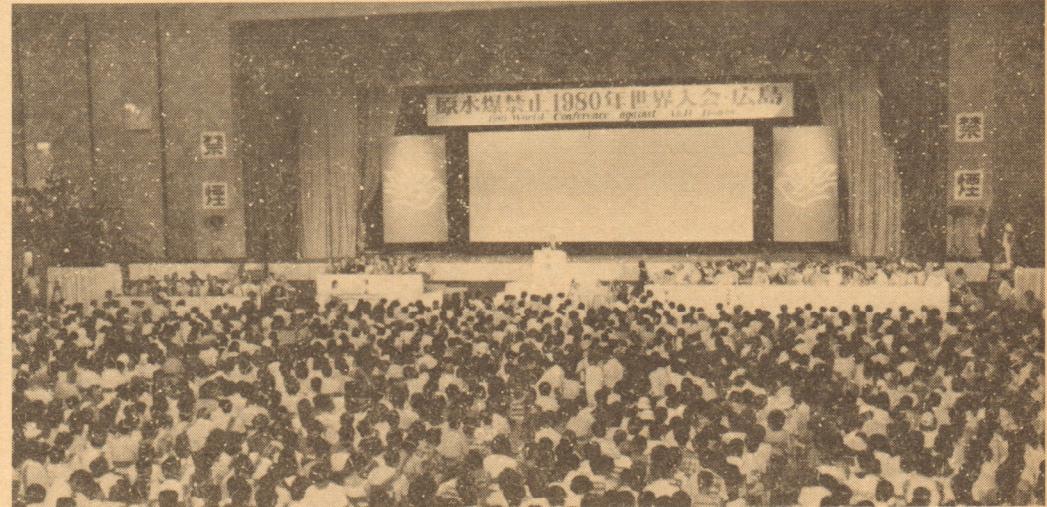
第43号

労働青年同盟(仮称)結成準備会

青年の旗社

振替 東京6-40103 大阪37542 名古屋4650

一部200円、定期購読 年間三千円(送料込み)



軍拡・増税・改憲 露骨な反動攻勢

強大な統一で反撃を

鈴木新内閣の反動姿勢は、とどまるところを知らないかのごとに、国民への露骨な挑戦を試みている。これまでタブーとされていた憲法改悪が、ついに公然と内閣自身の承認のもとに語られる事態となり、空前の軍備増強予算が、福祉・教育の切り捨てのもとに大手をふつてまかり通らんとしている。今日ほど、平和・民主勢力の真の力と、統一が厳しく問われている時はない。

自民党の桜内幹事長に引き続いだ、憲法の嚴格な番人たるべき法務大臣自らが衆議院法務委員会において「政治家としての私の所信を『卒直に』披歴し、い

まの憲法は占領軍の手で作られたもの」であり、「憲法前文は、自分で自分を守る」と書いていないから「国民の中から自分達の手で憲法を作ろう」というのは望ましいことであると公言し、これを受けた宮沢官房長官は、「まったく問題はない」

岸信介元首相を会長にいたり改憲反動勢力は、この流れの中には、いづれも「国際核軍縮・全面完結から、今年の「元号法」制定から、公式参挙「国家護持」要請法議を経て、今、全国三千三百の地方議会に対して、「新憲法の制定要請法議」

五市町別府市議会が同決議を採択し、全国に拡大せんとしている。日本青年会議所の憲法第九条改憲要求決議などあいまって、改憲反動勢力が急ピッチで、その活動を強化している。

変身評論家の清水幾太郎の「宣誓」の中には、「いづれも、国際核軍縮・全面完成の宣誓がある事、今後も及ぶ広範な勢力の結集を得て成功裡に終了した。しかし、大会はあくまで大会であり、問われているのは克ち取られた論議の具體化であり、次に続く行動である。米・NATOを初め、帝国主義勢力は危険な冷戦、軍拡の手を弱めてはおらず、その構成部分たる日本政府は、衆参両院選挙での「圧勝」を背景に、軍國主義強化の動きに一層拍車をかけている。八〇世界大会で克ち取られた諸成果を即座に具體化し、秋期和平運動にその具体的行動を反映させねばならない。

八〇原水禁世界大会は、八国際組織、二六ヶ国、九六名という海外代表の参加のもと、国内の計二万名に及ぶ広範な勢力の結集を得て成功裡に終了した。しかし、大会はあくまで大会であり、問われているのは克ち取られた論議の具體化であり、次に続く行動である。米・NATOを初め、帝国主義勢力は危険な冷戦、軍拡の手を弱めてはおらず、その構成部分たる日本政府は、衆参両院選挙での「圧勝」を背景に、軍國主義強化の動きに一層拍車をかけている。八〇世界大会で克ち取られた諸成果を即座に具體化し、秋期和平運動にその具体的行動を反映させねばならない。

八〇原水禁世界大会は、八国際組織、二六ヶ国、九六名という海外代表の参加のもと、国内の計二万名に及ぶ広範な勢力の結集を得て成功裡に終了した。しかし、大会はあくまで大会であり、問われているのは克ち取られた論議の具體化であり、次に続く行動である。米・NATOを初め、帝国主義勢力は危険な冷戦、軍拡の手を弱めてはおらず、その構成部分たる日本政府は、衆参両院選挙での「圧勝」を背景に、軍國主義強化の動きに一層拍車をかけている。八〇世界大会で克ち取られた諸成果を即座に具體化し、秋期和平運動にその具体的行動を反映させねばならない。

日本の軍國主義強化政策との対決を

しかし、まだまだ不充分点が存在している事も認識

「大会あつて運動なし」



軍備増強政策に抗議するロンドンの大衆デモ

核拡散防止条約の第一回再検討会議が八月十一日から、ジュネーブの欧州国連本部で四週間の会期で開催されている。フルトハイム国連事務総長は、「核戦争の危険が一段と増大している」と警告し、「核兵器保有国には軍縮を進める最大の責任がある」と訴え、全ての国がこの条約に加盟すること特に核保有国であるが、未加盟の中国、フランスへの参加を強く求めた。

また、各國からは核保有国に対する厳しい非難が集中した。それは、同条約が核保有国に対し核軍縮の義務を課しているが、七〇年調印以後のこの十年間、核保有国がこの努力を怠つてゐることに對してである。スイス代表は、とりわけ米カーター政権が自ら軍縮をすすめながら、核の平和利用技術や核燃料の輸出を利用制限し、他国の原子力開発

に對する懲り深い非難が集中した。それは、同条約が核保有国に対し核軍縮の義務を課しているが、七〇年調印以後のこの十年間、核保有国がこの努力を怠つてゐることに對してである。

